

‘甘平’の硬化症対策

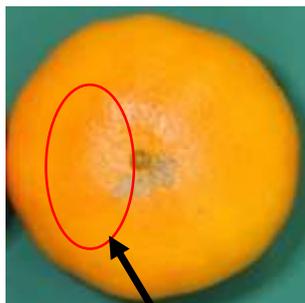
甘平では8月上旬頃に、かさぶた状の症状が発生したり、収穫時に果頂部が硬化することがある。この主な原因はホウ素欠乏である。ホウ素剤の1000倍液を2回以上散布すると発生がかなり軽減できる。また、ホウ素欠乏症発生園では毎年ホウ素剤の散布が必要。

症状

果皮の症状

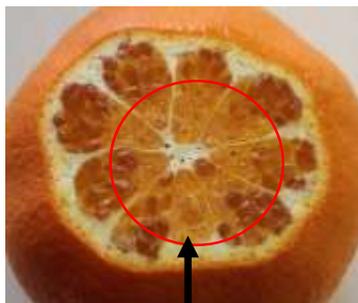


かさぶた状の症状



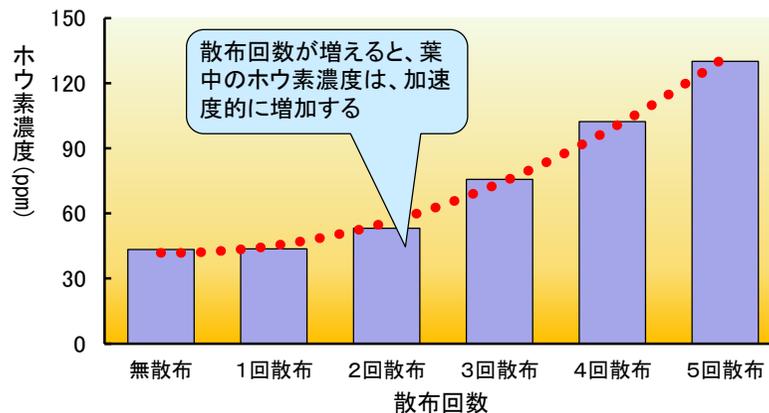
果皮が赤くて硬い

果肉の症状



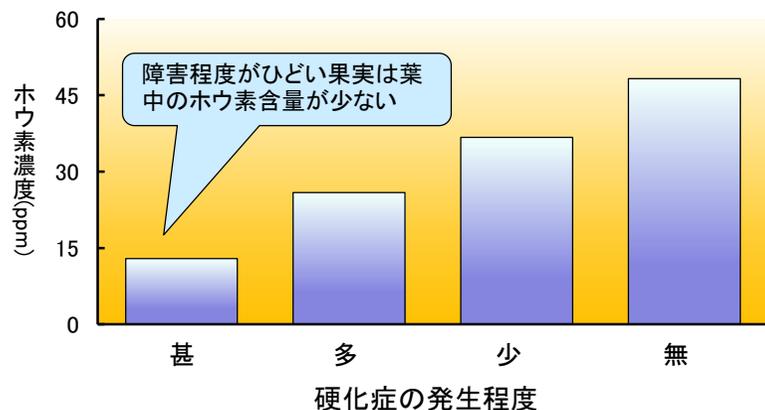
白くてぱさぱさ

ホウ素剤の散布回数と葉中のホウ素含量



ホウ素剤は1000倍で散布

硬化症の程度と葉中のホウ素含量



ホウ素剤の散布効果

ホウ素剤の散布と硬化症の発生、果実品質

	硬化症発生率 (%)	糖度 (Brix)	クエン酸 (g/100ml)
ホウ素剤散布	4	14.3	1.17
無散布	25	14.5	1.22

ホウ素剤散布日 (満開30日と50日後)
散布濃度 1000倍

ホウ素剤の散布により硬化症の発生を抑制できる